

第14回 安川加壽子記念会 回顧展

—いま甦る！安川加壽子のピアノズム—

2019年7月19日(金)・20日(土) 日仏会館

主催■日仏音楽協会／安川加壽子記念会／2022安川加壽子生誕100年記念事業実行委員会

共催■公益財団法人日仏会館

後援■公益社団法人日本演奏連盟／公益財団法人日本ピアノ教育連盟／株式会社音楽之友社

お問合せ■安川加壽子記念会事務局 **Shin・En** 新演 03-6222-9513

＊両日10:00～20:00 回顧展【2階ギャラリー】

＊7月19日(金) 18:30～19:30 【1階ホール】

「第9回安川加壽子記念コンクール」(日本ピアノ教育連盟主催)

上位入賞者による演奏会

プログラム

下岡 萌々子 〈第3位〉

ドビュッシー：前奏曲集 第2集より 3.ヴィノの門
C. Debussy “Préludes 2” 3. La Puerta del Vino

プロコフィエフ：ピアノソナタ第8番 変ロ長調 作品84より 第2, 3楽章
S.S.Prokofiev Piano Sonata No. 8 in B-Flat Major Op. 84
II. Andante sognando
III. Vivace

荒井 玲奈 〈第2位〉

ラヴェル：「夜のガスパール」より 第1曲 オンディーヌ, 第3曲 スカルボ
M. Ravel “Gaspard de la nuit” 1.Ondine, 3.Scarbo

重森 光太郎 〈第1位〉 「安川加壽子音楽賞」 「山中賞」受賞

ブラームス：創作主題による変奏曲 二長調 作品21より 第1集
J. Brahms Variationen über ein eigenes Thema Op.21-1

ラヴェル：「鏡」より 第2曲 悲しい鳥たち, 第4曲 道化師の朝の歌
M. Ravel “Miroirs” 2.Oiseaux tristes, 4.Alborada del gracioso

ピアノ調律：齊藤ピアノ調律所 (齊藤 孝)

プロフィール

下岡 萌々子 SHIMOOKA Momoko



広島県出身。東京音楽大学ピアノ演奏家コース2年在学中。ミラノ国際ジュニアコンクール（イタリア）Cカテゴリー最高位。第69回全日本学生音楽コンクール高校生の部東京大会第3位、全国大会入選。第7回せんがわピアノオーディション優秀賞及び下田幸二賞受賞。第9回安川加壽子記念コンクール第3位。これまでに沢田菊江、松本和将、石井克典、武田真理の各氏に師事。

♪演奏曲について♪

この度は、第3位を頂けたことに驚くと共に大変光栄に思います。今回演奏させていただきます2曲は、フランス人作曲家であるドビュッシーが表現したスペイン的エッセンスの溢れる曲「ヴィノの門」と、ロシア人作曲家であるプロコフィエフの作品の中でも最も偉大な8番ソナタです。それぞれの曲が持つ世界観を味わって頂ければ嬉しいです。

荒井 玲奈 ARAI Reina



桐朋女子高等学校音楽科を経て、現在、桐朋学園大学3年在学中。ピティナピアノコンペティション全国大会にて2015年F級ベスト賞、2017年G級ベスト賞。高校卒業演奏会に出演。2018年第24回フッペル鳥栖ピアノコンクールフッペル部門第1位。2019年第9回安川加壽子記念コンクール第2位。これまでに藤井晶子、中井恒仁の各氏に師事。

♪演奏曲について♪

この度は、安川加壽子記念会で演奏する機会を頂き有難うございます。これまで、支えて下さいました多くの方々に感謝申し上げます。3年前の安川加壽子記念会第12回演奏会にて、上原琢矢さんのラヴェルの「夜のガスパール」を聴く機会があり、美しく妖しげな音の響きに心奪われ、この曲を演奏したいという気持ちが強くなりました。初めは、この難曲を理解して演奏できるのかと不安でしたが、師である中井恒仁先生のご指導のもと、ベルトランの詩や絵画からインスピレーションを得ていくうちに、ファンタジーの世界に引き込まれました。これからも、ずっと弾き続けていきたい大切な曲です。

重森 光太郎 SHIGEMORI Kotaro



6歳からピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）を経て桐朋学園大学音楽学部を特待生として入学し現在2年在学中。2017年第1回Shigeru Kawai国際ピアノコンクールファイナリスト奨励賞。2018年第19回シヨパン国際ピアノコンクール in Asiaプロフェッショナル部門 銀賞。第9回桐朋ピアノコンペティション第1位、その他多数。三上桂子氏に師事。

♪演奏曲について♪

今回、ブラームス創作主題による変奏曲とラヴェルの鏡より抜粋 悲しい鳥たち 道化師の朝の歌を演奏させていただきます。このプログラムは、全て自分の思入れの曲でもあり、特にブラームスは彼自身の精神性と感受性を引き出すのがとても難しいのが特徴的で、とてもドラマチックかつ非常に繊細なメロディーとハーモニーの掛け合わさる所が本当に美しいなあと思いこのようなプログラムで組み合わせさせていただきました！今日は、大変貴重な機会に弾けることとても嬉しくっております！

＊7月20日（土）16:00～18:00 【1階ホール】
安川加壽子の演奏映像と青柳いづみこによる奏法解説

プログラム

前半（50分）

- 1) 「ピアノのテクニック」※ 22、29、47、49ページの解説
- 2) レガートの例として
♪ ショパン「アンダンテ・ピアノと華麗なる大ポロネーズ」より
スピアナート部分
- 3) スタッカートの例として ♪ 同ポロネーズ部分
- 4) 重音のレガート、スタッカートの例として ♪ ショパン「子守唄」「舟歌」
- 5) 以上の奏法の総合例として ♪ ショパン「スケルツォ第4番」
- 6) 手の交差の例として ♪ ラヴェル「水の戯れ」
- 7) フレージングの例として
♪ モーツァルト「ピアノ協奏曲第26番・戴冠式」

*** 休憩 ***

後半（50分）

♪ 1975年7月5日 NHKホールでの「ショパン演奏会」より
「子守唄」「舟歌」「スケルツォ第4番」

♪ 1981年9月2日 郵便貯金会館ホールでの「私の音楽会」より
ラヴェル「水の戯れ」

モーツァルト「ピアノ協奏曲第26番」第1楽章

金 洪才指揮・読売日本交響楽団

※ 新訂「ピアノのテクニック」現代的技術 巨匠たちの忠言
(E.ヴァンドヴェルド著 安川加壽子訳編 音楽之友社刊)

プロフィール

青柳 いづみこ AOYAGI Izumiko

安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。フランス国立マルセイユ音楽院首席卒業。東京藝術大学大学院博士課程修了。平成2年度文化庁芸術祭賞受賞。執筆と演奏を兼ねる希有な存在として注目を集め、師安川加壽子の評伝『翼のはえた指』で吉田秀和賞、祖父の評伝『青柳瑞穂の生涯』で日本エッセイストクラブ賞、『6本指のゴルトベルク』で講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』でミュージックペンクラブ音楽賞。近著に『ドビュッシー ピアノ曲の秘密』(ONTOMO MOOK)、CDに『ドビュッシーとパリの詩人たち』など。ラ・フォルジュルネ音楽祭、NHK『らららクラシック』等にも出演。大阪音楽大学名誉教授、神戸女学院大学講師。日本演奏連盟理事、日本ショパン協会理事。



photo : Hideo GOTO

<http://ondine-i.net>

公式FB <https://www.facebook.com/aoyagi.izumiko>

＊安川加壽子資料室＊

ピアニスト安川加壽子の映像、SPレコードよりCDに至る音源、戦前より現在までのコンサート・プログラム、雑誌や新聞記事、ブロマイド、写真などを基に、門下生松野健史によって開設準備中。

来る2022年に〈安川加壽子先生 生誕100年〉を迎えます。

安川加壽子記念会では これを記念して 記念誌の作成を計画しております。

日本で最初の本格的なピアニストとして また音楽教育や室内楽の分野でも大きな功績を残されました安川加壽子先生にまつわる 有名なエピソードから 殆ど知られていないであろう思い出の数々で 先生のお人柄を改めて振り返ることができたら幸いです。

今後とも安川加壽子記念会の活動にどうぞご期待下さい。

安川加壽子先生に関する資料を探しています。音源やお写真のほか NHK「ピアノのおけいこ」のテキストなどをお持ちの方は 下記事務局へお知らせ下さいませ。

安川加壽子記念会

事務局 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-12-20 第1SSビル9 B(株)新演内
TEL.03-6222-9513 FAX.03-6222-9514 e-mail; desk@shin-en.jp